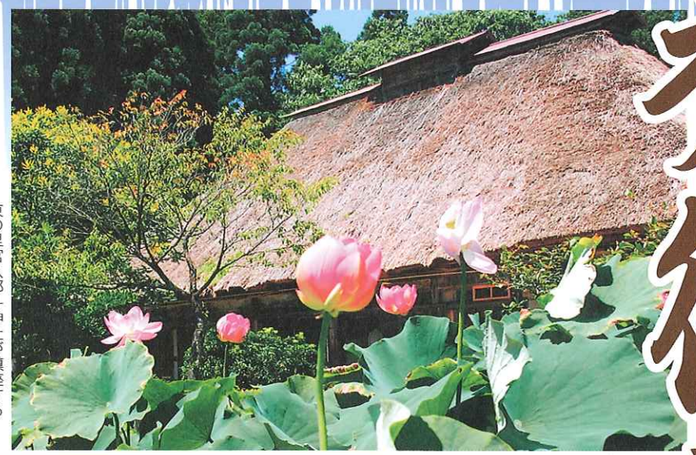
「黄金の道」秀衡街道ガイドブック

改訂版

黄金の道 秀衡街道



東の里宮久那斗神社が鎮座する多聞院伊澤家と中尊寺ハス（北上市）

平泉藤原氏の黄金文化を支えた鉱山群の一つ
鶯之巣金山跡（西和賀町）

秀衡街道のシンボルでもある「筏の大杉」。西の里宮筏隊山神社近くにある（横手市）

秀衡街道のあらまし

平安時代末期、東北地方を治めていた平泉藤原三代秀衡と黄金文化にちなんで名づけられた「秀衡街道」が、岩手県北上市から西和賀町を経て、秋田県横手市まで数十kmにわたって今に息づいています。

秀衡街道は、奥羽山脈のほぼ中央部を、北上川支流の和賀川と雄物川支流の横手川が浸食した、その山あいの横断谷を縫うように結ばれています。

江戸時代中期、高橋子績が著した「澤内風土記」には、「巣郷の一条は平易に同郡黒沢に通ずる也、かつてこれを秀衡街道と称す。」と記されています。いにしえの秀衡街道は、西和賀町巣郷から県境を抜けて横手市山内黒沢へ通ずる平坦な道で、陸奥・出羽両国交流の主要路でありました。

この道の最大の難所である和賀の仙人峠に、藤原秀衡が仁平年間（一一五一～五四）に、先祖の霊を仙人権現（現久那斗神社）として鎮座したと伝えられ、この神社の里宮が東西に勧請されています。

東の里宮は北上市和賀町岩沢の多聞院伊澤家（国指定重要文化財）の久那斗神社で、西の里宮は横手市山内筏の筏隊山神社（筏の仙人様）です。

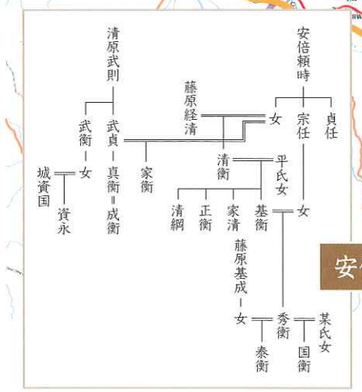
秀衡街道は、「黄金の道」とも称され、「たぬき掘り」の鶯之巣金山や畝倉山・明戸山などの金山跡、「秀衡掘り場」や「金商吉次の隠し金山」の伝承も残されています。

仙北の清原氏も金をたくさん持っていたと伝えられ、秀衡街道は黄金を運ぶ道でもありました。

樹齢千年の秋田県指定天然記念物「筏の大杉」、「全国森の巨人たち百選」に選ばれた仙人峠の「姥杉」などの神木も、この道のシンボルとなっています。

明治政府は殖産興業の一環として、平和街道（現国道一〇七号）を開削しました。その道筋は、秀衡街道の北側を切り開いて距離を短縮するコースでした。

平和街道の母体となった秀衡街道の所在を、岩手・秋田両県の先人達は、八百余年にわたって語り継ぎ、歴史と文化を今日に引き継いできました。



◎秀衡街道関係年表

西暦	年号	事項
一〇六一	康平五	◆安倍氏前九年の合戦で敗れる。清衡、母の再婚により清原氏の御曹司となる
一〇六三	康平六	◆清原武則鎮守府将軍となる
一〇八七	寛治一	◆清原氏後三年の合戦で敗れる　◆後に大鳥井柵（大鳥井山遺跡）は後に清衡の命で復旧される
一〇八九	寛治三	◆清衡陸奥押領使となり江刺郡豊田館に住す
一〇九五	嘉保二	◆この頃、清衡豊田館より平泉に移る
一〇九五	長治二	◆清衡、中尊寺の造営に着手
一一二二	保元三	◆秀衡生まれる　◆一一二四（天治一）中尊寺金色堂上棟
一一二六	天治三	◆中尊寺落慶供養を行う（中尊寺供養願文）
一一五一	仁平一	◆この頃秀衡、和賀（北上市）の仙人峠に先祖の霊を仙人権現（現久那斗神社）として祀る（伝承）
一一七〇	嘉応二	◆秀衡鎮守府将軍に、一一八一年には陸奥守となる
一一八七	文治三	◆秀衡没、泰衡その跡を継ぐ
一一八九	文治五	◆平泉藤原氏、奥州合戦で頼朝に敗れる。泰衡殺される
一三二五	正中二	◆横手市山内筏に、仙人峠の仙人権現を勧請（現筏隊山神社）、小野寺道宣社殿を創建する
一五三四	天文三	◆北上市和賀町岩沢の多聞院伊澤家に仙人権現（現久那斗神社）の里宮を祀る
一七六三	宝暦十三	◆高橋子績著「澤内風土記」に、秀衡街道・巣郷・黒沢が記される
一八六九	明治二	◆神仏分離令により仙人権現は久那斗神社と改称
一八八〇	明治十三	◆横手市山内の秀衡街道、平和街道予定路線となるも地元の反対で変更される
一八八二	明治十五	◆平和街道開通
一九二三	大正十二	◆仙人峠の久那斗神社の社殿再建、一九三九年改築される　◆一九二四（大正十三）横黒線（現北上線）全通
一九五五	昭和三十	◆この頃まで県境の秀衡街道、黒沢の当麻曼荼羅の参詣路として利用される
一九八一	昭和五十六	◆旧山内村郷土史編纂委員会、秀衡街道現地調査を行う
一九九〇	平成二	◆多聞院伊澤家住宅・久那斗神社国指定重要文化財となる
一九九二	平成四	◆北上市岩沢文化財愛護会設立される
一九九五	平成七	◆旧湯田町に秀衡街道探査会発足会員四十名、以降七年で町内秀衡街道二五キロをつなぐ
一九九七	平成九	◆秀衡街道湯田ダム水没の二キロ、国有林地内代替ルートの仮承認を得る。二〇〇〇年新ルート成る
一九九九	平成十一	◆鶯之巣金山跡で砂金採取体験を行う
二〇〇一	平成十三	◆旧湯田町秀衡街道パンフレット・学習下敷を作成、町内の小中学校で講座を開く
二〇〇二	平成十四	◆旧湯田町内二個所に秀衡街道案内板を設置する
		◆五月中尊寺より多聞院伊澤家へ「中尊寺ハス」株分けされる
		◆八月柏澤史郎氏「奥州・秀衡古道を歩く」を発刊
二〇〇五	平成十七	◆岩手県立西和賀高校生徒、秀衡街道現地学習を行う
二〇〇六	平成十八	◆横手市山内黒沢自治会、県境付近の草刈り作業をこの年から継続実施
二〇〇九	平成二十一	◆二月岩手・秋田県際交流事業実行委員会「黄金の道」秀衡街道フォーラムを横手市で開く
二〇一〇	平成二十二	◆二月横手市大鳥井山遺跡、国の史跡に指定される
		◆四月中尊寺より横手市山内筏隊山神社へ「中尊寺ハス」株分けされる

■主催／岩手・秋田県際交流事業実行委員会（事務局：横手市総務企画部市長公室）
■電話／0182-35-2189

2010年5月31日